

# 深化した仕様と変わらぬ木の温もり。 ライフスタイルを楽しむための工夫も満載。

建築工房 自然木 (じねんもく) / <http://homepage2.nifty.com/jinenmoku/> / 木造軸組在来工法 / 鹿児島市 T邸

素材の良さと実用性を備えた粋を感じるデザイン。  
Tさんご夫妻と自然木の出会いは本誌での資料請求がきっかけ。木を使った家を建てたいと、いくつかの施工会社の見学会を巡っていたとき、最後に訪れた

のが同社の住まいだった。「自然木の見学会に行くまでは、それまでに見た他社にほぼ決めていたんです。でも、室内に入って…逆転ホームラン！と感じて(笑)。逆転の決め手になったのは、住まい全体の雰囲気。」お



1階部分の土壁の質感が印象的なT邸。玄関まわりにあしらった杉板のパターン貼りがアクセントになっている



外壁の素材は3タイプ。機能性と美しさを備え、飽きのこない落ち着きを醸す



通りに面した角地を配慮して、コンパクトながら目を引くデザインで存在感を。屋根はシルバークラウドのガルバリウムで遮熱性をアップ。ガレージも一体化させてスッキリと



## Family Voice

本当に気持ち良い住まい。思い描いたプランと、一年中快適に過ごせる空間は家族をより親密にしてくれる気がします。自然木主催の「産直ツアー」にも参加し、我が家に使う木を直に見られたのも思い出になりました。

## Data

家族構成 ● 夫婦+2男  
 面積 ● 土地面積221.03㎡ (66.86坪)  
 延床面積137.97㎡ (41.73坪)  
 1階106.39㎡ (32.18坪)  
 2階31.58㎡ (9.55坪)  
 ロフト12.63㎡ (3.82坪)  
 用途地域 ● 第一種低層住居専用地域  
 構造 ● 木造軸組在来工法  
 建ぺい率 ● 53.10%  
 容積率 ● 51.47%

## Schedule

設計期間 ● 約6ヶ月  
 工事期間 ● 約6ヶ月



「家族が過ごす場所」として考えられたLDKの空間。ウッドデッキを経た外へのつながりをも心地良い



ホビールームにはご主人のコレクションを見せるための飾り棚が

洒落なのに素朴というか、落ち着くし、あったかいし、ホッとするんです」と第一印象を憶い出しながら話すご主人。具体的なポイントというより、第六感がゴースインを出した、という感じだろうか。しかし実のところ同社のプランやデザインは、使い勝手の良さや実用性の高さを考慮して培われたもの。「使い手が納得して、楽しみながら暮らししている満足感がTさんたちにも伝わったのでは」と同社代表の村田さんは解説してくれた。加えて、それまで家づくりのための様々な知識を得てきたご夫婦の疑問や質問についても、的確で納得いく回答をもらったことも要因に。「家づくりに対しての真摯な姿勢が見えて、安心して任せられると思えました」。

**さらに深化した仕様でより快適な暮らしを。**

自然のエネルギーを利用し、楽しむ生活。自然の風、自然素材の持つ調湿性や蓄熱性を利用し、自然に負荷をかけない家づくりを提案している。その前提として必要になるのが、断熱遮熱性能の確保だという。

断熱材に「セルロースファイバー+遮熱シート」を



ダイニングから見たリビング。冬の暖房は薪ストーブ一台で十分だった。冬も過ごしやすい住まい。整然とした木のあしらいは、年月を重ねるほどに味わいが増していく

採用。次世代省エネ基準を目指している。さらに、屋根のガルバリウムの色をグレイからシルバーに変更することで、夏場の断熱遮熱性能をアップしている。

この住宅は、桜島を望む高台に建ち、いつも気持ち良い風が吹いている。その自然風の利用も積極的に行っている。ロフトの窓は、長く出した庇と、ルーバー窓の外に縦格子を設置したことで、常時開放できる。室内の断面を工夫することで、1、2階の熱い空気は効率よくロフトに集まり、ここを風が抜けると、夏場の熱い空気が追い出されることになる。

屋根のデザインは、風の流れに乗るグライダーの翼をイメージしたそう。よく見るとほんの少しRを描き、先端に向かって細くなる垂木は、風をコントロールするフラップの骨組みに見える。

冬は、階段室、吹き抜けへの熱の流れをポリカーボネートの引戸で調整する。断熱性・気密性を高め、通風・蓄熱も考慮に入れて、温熱環境を計画してある。「薪ストーブ

一台で、家全体が暖かいです。」と、一冬を過ごしたTさん夫婦は、じねんもくの新しい仕様に満足そうだ。

**家族がいつも一緒に過ごせる空間づくり。**

「LDKだけで暮らしが成り立つような間取り」がT邸の要望。食事や団らん、書齋、子どもたちの勉強もLDKのどこかしらのスペースでできるよう、ユニークな造りになっている。特筆したいのはダイニング。キッチン横にテーブルが配置され、椅子を兼ねた2帖ほどの畳スペースがある。そこに掘りごたつ式のデスクを造り付けてあるのも興味深い。畳スペースは寝転べる広さもあり、昼寝にも良さそう。実際、眠るまでの時間はほとんどこの空間で家族が過ごすそう。住まいのプランによって、ライフスタイルを創った好例と言える。



ダイニングテーブルには畳スペースを配してあるので多目的に使える。小窓に面したテーブルは掘りごたつ式で、窓の向こうには桜島を望めるのだ

庭とウッドデッキは木製の柵でさり気なく自隠し。外柵やベランダ、ウッドデッキなどの塗装は家族で行ったそう。この角度だと、Rを付けた2階屋根の様子が見えやすい



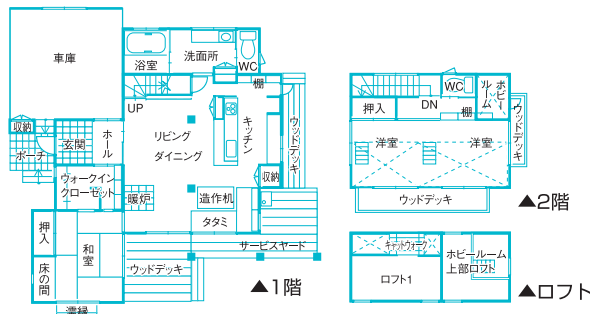
2階の北面に設置されている木製の格子。70枚の板は棟梁が2、3日かけて1本ずつ丁寧に取り付けたもの。通風のためのジャロジーを覆っている。この格子のおかげで開放時に横風で雨が降っても吹き込むことはない。また、魅せるデザインとしても秀逸



洗面・脱衣所もゆったりとした広さ。気持ち良く、機能的に使えるよう収納の位置や大きさにも配慮を。物干パイプや浴室前の目かくしスクリーンも設置してある



収納棚を造作してリビングに違和感なく溶け込むキッチンに。奥の壁にはコルクボードを取り付けてた掲示板がある。学校からのプリントなどを貼るのに便利



**メーカーからのひとこと**



建築工房 自然木 代表取締役 村田 義弘さん

自然木では、「自律循環型住宅」に取り組んでいます。「自律循環型住宅」とは、敷地の気候特性に応じて、自然エネルギーを有効利用し、設備機器の選択を考慮することで、2000年標準住宅CO2排出量の50%削減が、2010年までに十分実用化できる住宅を言います。

**建築工房 自然木(じねんもく)**

- 鹿児島市永吉2-29-3  
TEL 099-812-5701  
FAX 099-812-5702  
http://homepage2.nifty.com/jinenmoku/
- 建設業者許可番号/  
鹿児島県知事免許(般-19)第14664号
- 取扱業務/注文住宅、リフォーム、店舗、マンション、ウッドデッキ等ガーデンリフォーム、植栽工事、古民家再生
- 取扱工法/木造軸組在来工法、コンクリート木造軸組混構造、RC造、鉄骨造